

# FOCUS

## 追いかける。大学生。

### ダイコクドラッグ 学生アルバイト

「バイト」の域を超える経験

ダイコクドラッグと聞いて関西の学生が想像するのは、オレンジの看板、薬や化粧品といったところだろうか。実は、ここで働く学生アルバイトには、起業の後援から就活対策まで、手厚い福利厚生がなされている。企業の愛する、学生アルバイトに迫る。



真剣な顔つきでディベートに取り組む学生アルバイトたち（2月20日・なんば交流センターで 撮影=片山孝章）

「普通の学生ではまず得られないような経験ができますから」。口をそろえてこう話す、薬店「ダイコクドラッグ」の学生アルバイトたち。薬の販売など、誰もが想像できるようなアルバイト業務のみならず、学生会、学生会幹部という組織体系が設けられ、活動が認められて幹部になったメンバーは会長室に入って最前線の仕事に関わる。「この企業は学生を大事にしてくれるんです」。

学生会に入会した学生アルバイトは、企業内の交流会に優先的に参加して人脈を広げられるほか、週1回の「就職応援学生会」で、将来就職活動をする上で必要なスキルを磨くことができる。2月20日もなんば交流センター（大阪市中央区）で13人を対象に開催され、就活を経験した4年生を交えたディベートなどが行われた。1年生ながらこの催しに参加し続けている高柴萌花さん（京都外国語大・1年）は「分刻みで賛成、反対を交代するディベートは、意見がまとまらず難しかった。でも少人数でここまで指導してもらえないことはないし、勉強になっている」と満足そうに話した。

「あのダイコクが？」

## 学生いきいき自発的

### 交流会が「会長室」？ 新人交えにぎやかに



2月16日、学生会幹部が主催となり、ダイコクドラッグ会長室（大阪市北区）で新人学生アルバイト交流会が開催された。約20人の学生が、なんと業務の最前線である「会長室」で、思い思いに交流した。交流会では、業務によって取得できる資格について解説されたほか、ダイコクの「学生への起業支援」についての説明もなされた。

した。昨年1年間、学生会幹部として、代表を務めた松田大樹さん（関西学院大・4年）は、メールのやり取りで、学生アルバイトが不定期に集まるだけだったコミュニケーションを発展させ、企業の意向を形あるものにした。「企業側でも、意識の高い学生が自主的に活動することを常々求めていた。せっかく学生会を運営するのなら、企業側にも学生側にも、利益になるように作りの運営や、カウンセリングの仕事に関わっていた経験を生かし、社員と学生のパイプ役を果たした。今年から代表を務めることになる伊藤裕樹さん（甲南大・2年）も、「松田さんの経験量や、聞いたことの多くを自分に生かせる力

を、次期代表として見習いたい」と話し、学生会の今後の発展を誓った。「今は頼りない伊藤が、今後企業の重要な部分に関わって、1年後どんな顔で自分に会いに来るかな」と松田さん。ダイコクが与えてくれる「チャンス」は、学生の価値観を大きく変える。「薬」の看板からは想像もつかない刺激的な業務の数々に、今後学生アルバイトが貢献する。（聞き手 片山孝章）



松田さん（左）と、新代表の伊藤さん

## UNN関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) <http://www.unn-news.com/>  
共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F  
(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) [info@unn-news.com](mailto:info@unn-news.com)

FOCUSは  
神戸大学ニュースネット委員会  
同志社大学 PRESS 編集部  
NEWS 立命通信社  
関学新月通信社  
大阪大学 POST 編集部  
関西大学タイムス編集部  
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部  
京都女子大学藤花通信編集部  
京都大学 EXPRESS 編集部  
の共同編集による週刊フリーペーパーです